東亜技研工業株式会社

2021年度　環境経営レポート

(2021年1月～2021年12月まで)

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号 0000445

作成日：　2022年5月24日

目　　次

項　　目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

ごあいさつ

皆さま、こんにちは。弊社は小規模な下請け製造業ですが、地域や社会に少しでも貢献出来ればと考えております。その中でも環境活動はとても大切な活動だと思っております。今を生きる我々だけではなく、子孫へ悪影響を残す事になるかも知れないと思うと考える事は多いと思います。弊社はエコアクション21の活動に長く参加させて頂いておりますが、まだまだやれる事があると思いますので今後も継続活動を続けてまいります。

環 境 経 営 方 針

環境経営理念

東亜技研工業株式会社（以下「当社」と記す）は、小規模な下請製造業に属し、主に分電盤等制御機器の資材調達、組立、検査を主たる活動としています。□

当社は、環境保護が世界の最重要・緊急課題の一つとして認識し、企業活動の全ての領域において、環境汚染の防止、資源の有効活用、環境法規制の遵守など、環境管理活動を継続的に推進します。□

環境保全への行動指針

１．当社が発生させる環境影響を以下の活動領域に沿って、環境管理活動を推進します。

(1)　電気エネルギーの削減に取り組み、CO2の排出を削減します。
(2)　資源の有効活用を推進し、廃棄物を削減します。
(3)　廃棄物の分別によりリサイクル活動を推進します。
(4)　節水に努め、水使用量を削減します。

２．環境関連法規制を遵守し、当社の環境管理活動を推進します。

３．利害関係者よりの環境に関する要求事項に対して、同意出来る場合は、当社の環境管理活動をそれらの要求に適合させます。

４．全従業員がこの環境方針を周知徹底し、当社が環境管理活動を推進する企業である事の自覚と誇りを持ち行動するべく、環境教育を行います。

５．当社の技術的・経済的に可能な範囲で、環境目的・目標を定め、定期的な見直しを行い、環境管理活動の継続的改善を図ります。

６．グリーン購入に努めます。

７．環境に配慮した製品をお客様にお届けします。

８．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2004年2月14日
改定日：2019年1月30日

代表取締役社長　中村　巧

組　織　の　概　要

更新日： 2021年6月27日

（1）名称及び代表者名
東亜技研工業株式会社
代表取締役 中村 巧 様

（2）所在地
本　　社　　大阪府東大阪市水走3丁目12-7

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　専務取締役　　中村　悟　　TEL：072－961－9401

（4）事業内容（認証・登録の範囲）:
電子自動制御機器の設計・製作

（5）事業の規模
売上高　　29,663 万円

	本　　社
従業員	20　名
延べ床面積	860　㎡

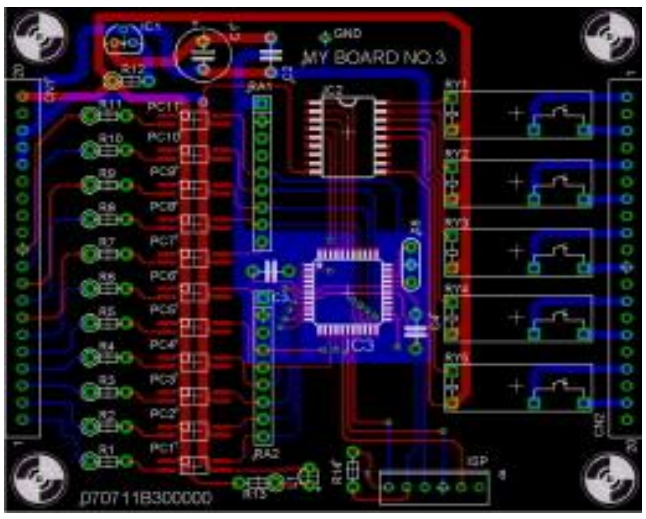
（6）事業年度　　：　　6月～5月 （環境活動は1月～12月）

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　東亜技研工業株式会社
対象事業所：　本　　社
活動　　：　電子自動制御機器の設計・製作
登録年度　：　2005年7月

□事業や製品（商品）の紹介

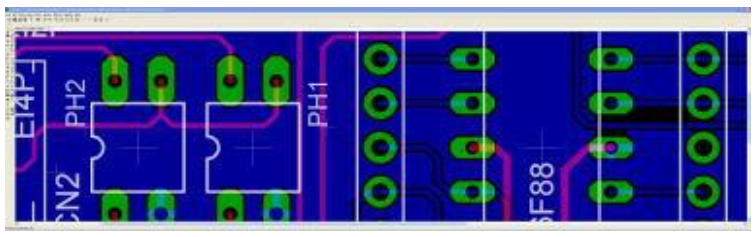
東亜技研工業株式会社は、小規模な下請け製造業に属し、主に分電盤等制御機器の資材調達、組立、検査を主たる活動としています。



マイコン基板設計

パワー基板組立

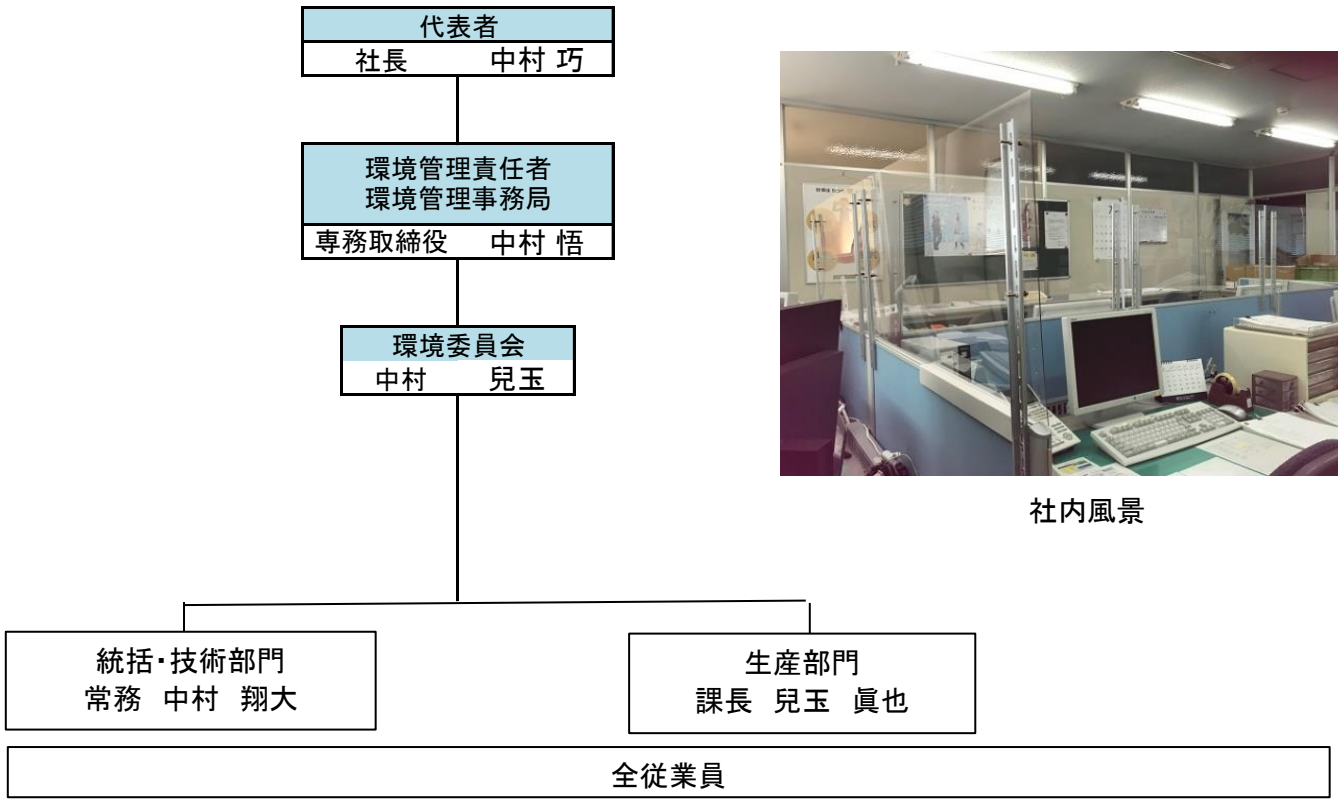
各種分電盤組立



基板設計

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日： 2022年4月28日



社内風景

	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境管理事務局	・環境管理責任者の補佐
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
各部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項　目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	26,721	25,004	25,574
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	ｋｇ	2,060	2,126	1,745
水使用量	m^3	206	191	176
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.418	0.418	0.418 kg-CO2/kWh

※2018/12/27 関西電力(株

環境経営目標及びその実績

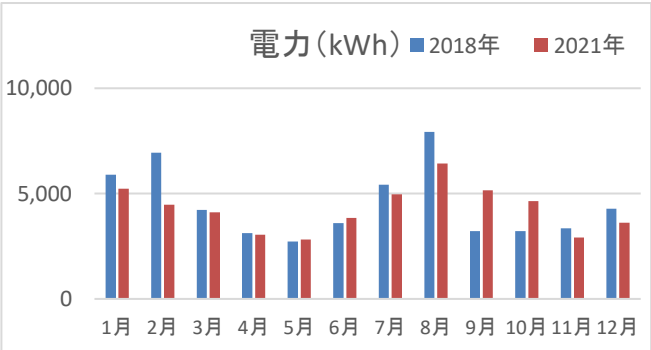
□環境経営目標及びその実績

項　目 ＼ 年　度		基準値（基準年）	2021年（目標）	2021年（実績）	2022年（目標）	2023年（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	23,681	22,733	21,423	22,497	22,260
	基準年度比	2018年	96%	90%	95%	94%
原単位	kWh/万円	1.503	1.443	1.728	1.428	1.413
ＬＰガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	15.9	15.6	11.1	15.4	15.3
	基準年度比	2018年	98%	70%	97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	5,668	5,498	4,141	5,442	5,385
	基準年度比	2018年	97%	73%	96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	29,365	28,247	25,574	27,954	27,660
一般廃棄物の削減	kg	2,716	2,444	1,745	2,444	2,417
	基準年度比	2018年	90%	64%	90%	89%
水道水の削減	m^3	211	194	176	192	190
	基準年度比	2018年	92%	83%	91%	90%
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	行動目標（次項による）					
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標（次項による）					

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：〇達成　×未達成
活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

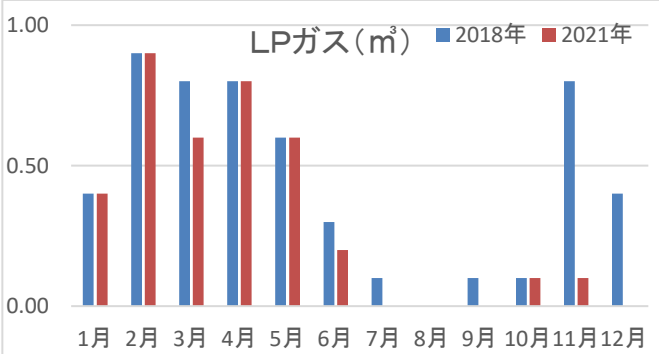
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	〇	総量では削減できたが、月毎では目標に達成していない月がある。冷暖房を使わない時期は蛍光灯と一部の装置、パソコンのみの電気の使用である。OA機器の節電が今後の課題となると思われる。業務自動化を検討する。空調温度の適正化は取り組み定着できている。残業、休日出勤は削減した。業務効率化の推進が継続課題であり、次年度も改善活動を推進する。
・空調温度の適正化（冷房28℃　暖房20℃）	〇	
・不要照明の消灯	〇	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	〇	
・生産方法の改善による時間短縮	〇	
・圧縮機のエア洩れ点検	〇	



・休み時間の消灯
・エアコンの温度管理
・エアコンのフィルタ掃除
・制作時間の短縮
・非稼働OA機器節電

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	5,888	6,940	4,226	3,133	2,732	3,605	5,413	7,922	3,212	3,212	3,347	4,274
2021年	5,233	4,469	4,106	3,052	2,814	3,842	4,964	6,426	5,164	4,649	2,912	3,619

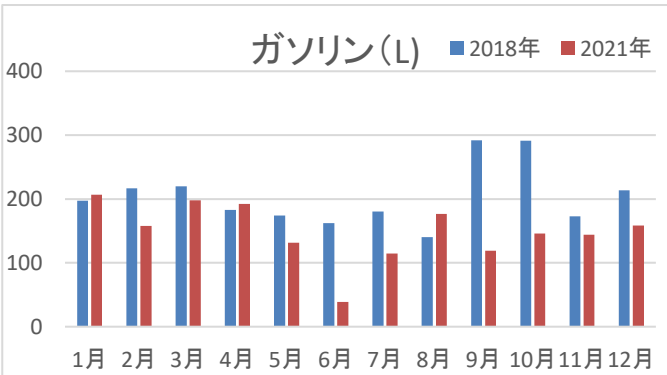
LPガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	〇	ガスの使用量は、給湯室の給湯器の温水の使用量とコンロの使用量による。夏場の給湯器使用を止めた事と、昼食時にお湯を沸かすのにコンロを使用する事を止めた事により削減となった。目標値の削減には至った。使用削減シールを作って貼るなど活動を定着させていく。
・給湯器温度設定の見直し	〇	
・コンロの使用禁止	〇	



・給湯器の温度設定
・コンロの使用禁止
・シールの貼り付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	0.40	0.90	0.80	0.80	0.60	0.30	0.10	0.00	0.10	0.10	0.80	0.40
2021年	0.40	0.90	0.60	0.80	0.60	0.20	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00

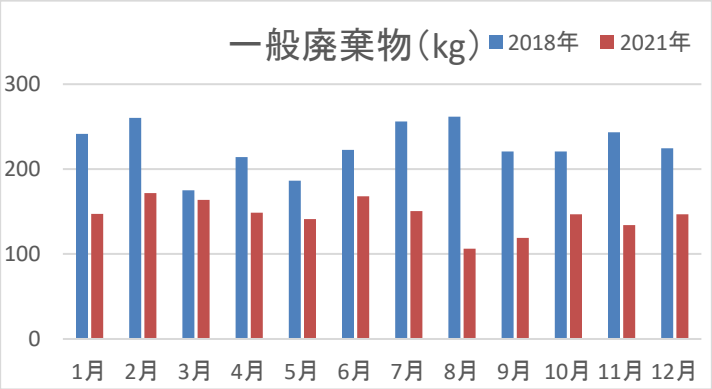
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	〇	無駄な自動車の使用を控えている。次年度もネット環境を使用しての会議などを用いて更に自動車の使用を控えたい。営業業務を改善し、月末のドタバタを抑制する。
・アイドリングストップ	〇	
・効率的なルートで配送	〇	
・エリア別営業活動の見直し	〇	



・自動車の利用する回数を削減する
・効率の良い営業ルートを考える
・電車やバスの使用を増やしていく。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	198	216	220	183	174	162	181	140	292	291	173	214
2021年	207	158	198	192	132	39	114	177	119	146	144	159

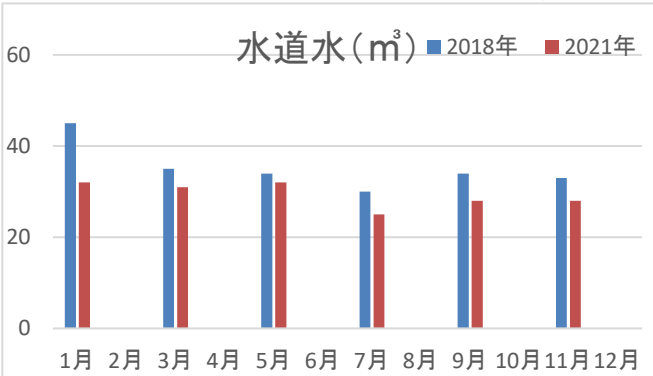
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	裏紙使用、梱包材の再利用及び通函の使用により、ゴミの削減は良くできている。今後は新機種についても通函を早期に用意できるようにする。ITを使用したデータ化を進めファイルサーバーを最大限に活用し、紙の使用量削減を目指していく。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	
・持込ごみの見直し	○	



・通函の利用拡大
・使用材の変更
・制作時の工夫
・紙の両面利用
・帳票類の電子化
・FAXからメールへ
・分別/リサイクル
・梱包材の再利用

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	241	260	175	214	186	222	256	262	221	221	244	225
2021年	147	172	164	149	141	168	151	106	119	147	134	147

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	弊社の水使用は主にトイレ及び手洗い。後は昼食時に流しを少し使う程度。節水を呼びかける事により水の使用を減らしたいが、ウイルス対策で手をよく洗うように促している。消毒液の設置により手洗いを減らす様にした。汚れ仕事時に手袋を使うなどの検討を行っていく。
・節水シールの貼り付け	○	
・節水啓発ポスターの設置	○	



・トイレタンクの水漏れ点検

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	45	0	35	0	34	0	30	0	34	0	33	0
2021年	32		31		32		25		28		28	

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・分解・分別しやすい製品の提供	△	QC活動にて手順書・加工表を見直し、使用する電線の全長(一台製作する為に必要な長さ)を短くする作業をしております。
・RoHs10対応部材の使用	○	
・使用部材を少なくする手順の確立	○	

配線順を見直すことにより、分岐している箇所の効率化が図れる。
作業簡略化の為に同寸で切断していた電線を必要な長さで切断するようにする。

RoHs10対応は2021年7月を目途に進めています。
一部必要ない製品についてはRoHs6での対応を2021年7月以降も続ける予定です。

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・人材の確保	○	環境対応や製作する製品についてはお客様の要求へ対応出来ています。資材が入手しずらい状況につき新しい試みが行い辛い状態です。基幹業務サーバーからデータを引き抜いて活用していく。
・製造工程・方法の見直し	○	
短納期への対応	△	
顧客要求への対応	○	
購入資材削減によるコストダウン	×	

仕様が決まってから部材の手配までの時間短縮を改善できないか行っています。
部署間のタイムラグを省いてスムーズに製作出来るように改善を行っています。

グリーン購入への取組

事務用品を購入する際に不要な物を購入しない。
過剰在庫をしない。
グリーン品目の調査を行い、詰換え品やリサイクル品等のグリーン購入を推進する

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物	○
特定家庭用機器再生商品化法	エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機	○
資源の有効な利用の促進に関する法律	パソコン（事務系PCリサイクル）	○
自動車リサイクル法	社用車	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン	○
ＮＯｘ・ＰＭ法	社用車（ハイエース）	○
廃棄物処理法（水銀使用製品）	蛍光灯	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情･要望等

2021年1月～12月までの期間中に記載する該当事項はありませんでした。

緊急事態対応の試行･訓練

緊急事態の想定:　火災の発生

■実施日：　2021年9月8日　　■実施場所　本社　会議室

■参加者：　中村悟　中村翔大　兒玉眞也

■実施内容：　☑通報訓練　☑消火器警報機の確認　☑避難経路の確認

手順の確認、消火器の場所が勝手に移動されていないかの確認。消火器の使用方法をネットで検索。避難経路に障害物が設置せていないかの確認。

■評価：　　手順書の変更の必要性□　あり　☑ なし

確認を行えたが、消火器を実際に使用した事があるのは一名のみ。簡易的な消火方法の導入を検討したい。

■実施状況

想定した緊急事態		対応方法
工場内にて火災発生	第一発見者	社内の誰かに119番通報と応援を依頼する。
		消火器･水で初期消火を行う。
		初期消火が困難な場合は非難する。
	発見者より依頼を受けた者	火災報知機を作動させる。
		(1F現場事務所･2F女子更衣室前の2箇所)
		電話機の「社内アナウンス」機能で社内に火災発生を知らせる。
		119番通報をする。
	環境管理組織の各責任者	避難誘導者を任命し初期消火を行う。
		初期消火が困難な場合は非難する。
	避難誘導者	各部署の従業員を社外(駐車場)へ避難誘導する。
	その他の従業員	「社内アナウンス」で火災を発生を知った社員は作業中の治工具類の電源をきる。
		初期消火活動･非難など、責任者の指示に従う。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2021年1月29日

・二酸化炭素排出削減のためにインターネットを使用したWEB会議システムを導入し、定着してきました。打合せだけでなく大きめの説明会もWEBを使用して行われるようになりました。WEB会議システムを導入により自動車の使用が減っております。今後はお客様との距離感を保ちつつもITを利用したコミュニケーションをさらに図っていきたいと思います。
・ITの利用を更に行い、現在の資材が入手し辛い状況に対応しつつ、業務の効率化を図って参ります。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり
実施体制他	☑ 変更なし	□ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

□編集後記

2021年は私たちにとって、今までと違う環境下にある一年でした。
今後は環境活動に合わせて災害やウイルス等にどう対応するのか真剣に考える時だと思います。